

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年1月29日

協議会名: のと鉄道生活交通改善検討協議会

評価対象事業名: 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
のと鉄道(株)七尾線	枕木の交換【同種交換】 木マクラギ894本を交換した	前年に引き続き、経年劣化した箇所について解消を図り、安全輸送を確保する事業を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 老朽化した箇所が改善され、列車運行における保安度が向上し、輸送の安全が確保された。	今後も、計画的に老朽化した鉄道施設の改修・更新等を実施し、安全・安定輸送を図る。
	レールの交換【同種交換】 レール624mを交換した	前年に引き続き、経年劣化した箇所について解消を図り、安全輸送を確保する事業を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 老朽化した箇所が改善され、列車運行における保安度が向上し、輸送の安全が確保された。	今後も、計画的に老朽化した鉄道施設の改修・更新等を実施し、安全・安定輸送を図る。

### ④ 事業実施の適切性:

生活交通確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A,B,Cの3段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
- B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
- C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

### ⑤ 目標・効果達成状況:

生活交通確保維持改善計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成された(達成できる見込み)かを、設定した目標ごとにA,B,Cの3段階で評価する。

目標・効果が達成できなかった(達成できない見込み)場合には、理由等を分析の上明らかにする。

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)
- B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
- C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)